

「がまくん、かえるくん」のシリーズを読んで、「すてき」を見つけてしょうかいしよう
～「お手紙」～

指導者 柳川 真弓
学 年 第2学年1組15名

1 単元について

【育成を目指す資質・能力】基礎的な知識・技能，活用する力，表現する力（★対話する力），振り返る力，考えをもつ力

【研究主題】 言葉の力を高める言語活動の在り方
～質の高い対話を通して～



【単元観】

本単元は，学習指導要領「C 読むこと」の言語活動例「イ 読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動」に対応する言語活動として，がまくん，かえるくんのシリーズを読んで，「自分が見付けた『すてき』を『すてき紹介カード』に書いて紹介する」ことを位置付けた。ここでは，登場人物「がまくん，かえるくん」の行動や会話から「いいなあ。」「すてきだなあ。」と思うものを見付け，「すてきミニカード」に書きためていくようにする。本単元でねらう「C 読むこと（1）エ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像すること」を実現するのにふさわしい言語活動であると考えられる。

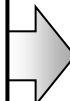
さらに，シリーズの物語を楽しんで読むことを繰り返す中で，一つのお話だけではなく，他のお話の中での登場人物「がまくん，かえるくん」の行動や会話をつなげたり，比べたりしながら読むことになる。そこで「C 読むこと カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること」にもつなげていく単元である。

本教材は，友達の不幸せをいっしょに悲しみ，幸せを共に喜ぶほのぼのとした心情を描いた作品である。特別な事件が起こるわけでもないが，4日遅れの，しかも内容の分かっている「お手紙」を，仲良く待つ二人の交流に，日頃から友達と仲良くし合っている子供たちは共感をもって読むことができる教材である。



【児童観】

本学級の児童は，これまでに「ふきのとう」の学習で，人物の言動や出来事を捉えたり，「スイミー」の学習で，人物の行動や出来事を捉え，あらすじをまとめたりした。「お気に入りの本をしょうかいしよう」では，本の紹介文を書く学習を行ない，好きなところを紹介するための文章を書いた。「C読むこと イ 内容の大体を捉えること」は概ねできているが，登場人物の行動を具体的に想像することまでには至っていない。そこで本単元では，「C読むこと エ」の力を付けることに重点を置きながら学習を進めていくようにする。



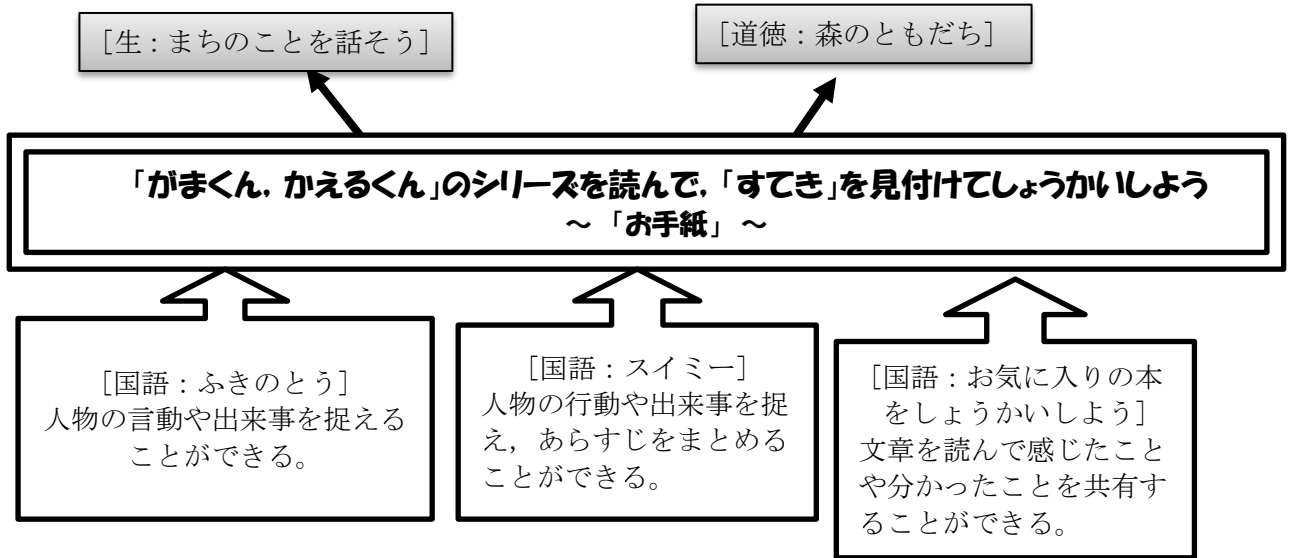
【指導観】

シリーズの本をいつでも読むことができるように読書環境を整える。具体的には「すてきミニカード」を常置し，いつでも自分が見付けた「すてき」と思う場所に付箋を貼ったり「すてきミニカード」に書いたりできるようにする。その際，「すてき」を見付ける視点を明らかにしたり，集めた「すてきカード」を交流したりする場を大切にしたい。

この場合の交流は，同じお話を読んだ児童同士での交流と，違うお話を読んだ児童との交流と二通りが考えられる。いずれの場合でも，シリーズ作品なので，同じ「がまくん，かえるくん」が登場する話であるという点で，共通する部分があると思われる。自分が見付けた「すてき」と友達が見付けた「すてき」を比べることにより，新たな発見につながるようにしたい。



2 本単元に関連する教科等



3 単元の目標

【知識・技能】

○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。[(3) エ]

【思考力・判断力・表現力等】

○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。[C (1) エ]

○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。[C (1) カ]

【学びに向かう力・人間性等】

○言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
読書に親しみ、シリーズで読む良さに気付いている。 [(3) エ]	① 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。[C (1) エ] ② 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。[C (1) カ]	粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って、紹介カードを書くことに取り組もうとしている。

5 単元の学習計画と評価計画（全11時間）

次	時	学習内容	指導上の留意点	評価規準【観点】 (評価方法)
一	1	○シリーズ作品を読む楽しさについて話し合う。 ○教師の選んだ本の紹介を聞き、「自分が選んだお話の『すてき』を紹介し合う」という学習課題を確認する	○シリーズ作品を数種類用意し、シリーズ作品を読むことの意識化を図るようにする。	

	2	<p>○学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シリーズの読み方を話し合う。 ・「すてき紹介カード」に読んだことをまとめるために、どのように学習していくか話し合う。 	<p>○教科書に「お手紙」が載っていることを確認するとともに、シリーズの本をグループに1セット（4冊）置いておくことにより、読む意欲を高めるようにする。</p> <p>○授業後半を並行読書に充てる時間を設定する。</p>	
二	3 4 5 6 7 8	<p>※第3～7時の各時間、前半は「お手紙」後半はシリーズのお話を読むようにする。</p> <p>○教材から見付けた「すてき」を紹介するために、挿絵と本文を結び付けながら読み、出来事のつながりをつかむ。</p> <p>○シリーズから見付けた「すてき」を紹介するために、挿絵と本文を結び付けながら読み、出来事のつながりをつかむ。</p> <p>○教材から見付けた「すてき」を紹介するために、自分の好きなどころを見付けながら読み、「すてきミニカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すてきだと思うところ（言葉・文）を抜き出す。 <p>○シリーズから見付けた「すてき」を紹介するために、自分の好きなどころを見付けながら読み、「すてきミニカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すてきだと思うところ（言葉・文）を抜き出す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○（本時）「お手紙」から見付けた「すてき」を紹介するために、「すてきミニカード」を使って、お話の中で好きな場面や好きなわけについて話し合う。</p> </div> <p>○シリーズから見付けた「すてき」を紹介するために、「すてきミニカー</p>	<p>○お話の中の挿絵を活用することで、「～が～するお話」などと話し合うようにする。</p> <p>○シリーズを意欲的に読むことができるように、付箋やを準備し、読んだ作品に印を付けていくようにする。</p> <p>○「お手紙」で見付けた「すてき」は「すてきマーク」を貼って全員の分を一覧できるようにし、シリーズの「すてき」は本に付箋を貼っていくようにする。</p> <p>○付箋を貼ったところから、「すてき」の理由をはっきりさせていきたいものを選んで「すてきミニカード」に書きためていくようにする。</p> <p>○「すてき」を見付けたり、その理由を考えたりする時の手掛かりとして、以下の点について意識できるように助言していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場面の様子が面白い。 ・登場人物の行動や会話が好き。 ・自分も似たような経験をして共感できる。 ・他のお話と比べて～だ。 <p>○シリーズから好きなお話を選び、自分が見付けた</p>	<p>○登場人物の行動や会話に着目しながら読み、教材文やシリーズのお話のあらすじを話している。 【思・判・表】（発言・行動観察）</p> <p>○登場人物の行動や会話に着目しながら読み、自分の見付けた「すてき」が分かるところを抜き出して書いている。 【主体的】（行動観察「すてきミニカード」）</p> <p>○登場人物の行動や場面の様子に着目しながら読み、すてきだと思った言葉や文を見付けている。 【知・技】（「すてきカード」）</p> <p>○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 【思考力・判断力・表現力】（行動観察「すてきミニカード」）</p> <p>○「すてきミニカード」から一番紹介</p>

		ド」を使って、お話の中で好きな場面や好きなわけについて話し合う。	「すてき」を確かめながら、繰り返し本を読むことができるようにする。	したい「すてき」を選んで、その理由を書いている。【主体的】(行動観察)
9		○シリーズから見付けた「すてき」を紹介するために、お気に入りの場面とその理由を紹介カードに清書し、作品を読み返しながらか紹介の準備をする。	○たくさん集めてきた「すてきカード」を読み返すことにより、すてきだと思った理由の中で、他のお話とのつながりについても触れられるようにする。	○自分が選んだお話のすてきだと思ったところを抜き出し、その理由を添えて紹介する文章を書いている。 【思・判・表】「すてき紹介カード」
三	10	○シリーズ作品から見付けた「すてき」を紹介し合う。 ・作品を再読する。	○お話ごとにコーナーを設定し、紹介する人と聞く人を交代しながら紹介し合うようにする。 ○自分が紹介しようと思うお話で見付けた「すてき」と比べながら聞くことにより、シリーズ作品の関連性について新たな発見を出し合ったり、感想を交流したりできるようにする。	○物語の好きなどころを、シリーズの他の作品の読書体験と結び付けて紹介している。【主体的】(行動観察)
	11	○友達が紹介するお話を読み、学習全体を振り返って、シリーズ読書の面白さを発表する。	○友達の紹介した作品のうち、読んでみたい作品を読み、感想を述べるようにする。	○シリーズ作品の特徴や面白さに気付き、進んで読むようとしている。【主体的】(読書カードの記録・発言内容)

6 本時の展開

(1) 本時の目標

○がまくん、かえるくんのシリーズから見付けた「すてき」を紹介するために、登場人物の言動を手掛かりにして、その様子を想像しながら読むことができる。【思・判・表】

(2) 本時の学習展開

学習活動と主な発問 (○)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
1 本時のめあてを確認する。		
「すてき」をしようかいるために、一番気に入った場面をえらんで、すてきだと思ったわけを書くことができる。		
2 「お手紙」で見付けた「すてき」とその理由をグループで話し合う。 ・場面の様子から、～が感じられるから。	○「お手紙」の本文に「すてきマーク」を貼っておき、同じ場面を選んだ児童どうしでグループを作り、理由を比べながら交流できるようにする。	

<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や会話から、～が分かるから。 ・自分も似たような経験をしていて、～だと思うから。 ・他のお話と比べて～だから。 <p>3 話し合ったことをもとにして、「すてき」と思った理由を書く。</p> <p>4 「すてき」と思った「理由」を発表する。</p> <p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>○「すてきミニカード」の裏に理由を書くスペースを用意しておき、話し合った中で、理由を書きおきたいカードを選んで、すてきだと思った理由を書くようにする。</p> <p>○児童の発表した理由を分類しながら板書し、シリーズ作品の「すてき」を見つけた理由を書くときに生かせるようにする。</p> <p>○「お手紙」の「すてき」が見つかったことを生かし、次時はシリーズ作品でも「すてき」だと思った所を話し合ったり、理由を書いたりすることを確認する。</p>	<p>場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。</p> <p>【思・判・表】 (すてきミニカード、話し合う様子)</p>
--	--	---

7 板書計画

<p>「すてき」だと思ったわけは？</p>	<p>「お手紙」教材文</p> <p>誰がどこを選んだかがわかるように、すてきマークを貼っておく。</p>	<p>「すてき」を見つけようかいいしょう</p> <p>めあて</p> <p>「すてき」をしようかいいするために、一番気に入った場面をえらんで、すてきだと思ったわけを書くことができる。</p>
-----------------------	---	---